

伊子茂小中学校 伝統の遠泳大会

ふなもとへの海泳ぎ切る

瀬戸内町立伊子茂小中学校（八木勇治校長、児童生徒30人）の伝統行事「伊子茂湾横断遠泳大会」が12日、同町加計呂麻島の伊子茂湾で開かれた。浜での水泳発表と約1キロの遠泳に延べ26人の児童生徒が参加。保護者や地域の人たちの応援を受けながら、ふるさとの海を泳ぎ切った。

大会は、郷土の自然や伝統の継承、児童生徒の体力向上などが目的で、60年以上の歴史がある。地域と学校、PTAが合同で実行委員会を立ち上げている。コースは伊子茂の「海宿

5マイル前の浜で泳ぐ「周回コース」と、そこから斉浜までを泳ぐ「遠泳コース」の二つ。児童生徒たちは事前に浜で計6回の水泳学習をして、本番に臨んだ。

12日は周回コースで児童4人が水泳の発表を行った後、22人の児童生徒が遠泳に挑戦。救護艇やカヤック、伴泳者に見守られる中、ビート板を使ったり、平泳ぎをしたりしてゴールを目指した。ゴールの浜では地域住民がチン（太鼓）をたたいて応援し、児童生徒を迎え入れた。



遠泳大会のご協力ありがとうございました♪

先ごろは、遠泳大会で救護艇での見守りや、たくさんの応援をありがとうございました。私は今回が最後の遠泳大会だったので皆さんのおかげで無事、安全に泳ぎきることができました。小学一年生のころから見守られて、泳ぐことの楽しさをもっと分かりました。これからもたくさん泳いでいきたいと思います。

伊子茂中学校 3年 名前（中村 なぎ恵）

遠泳大会のご協力ありがとうございました♪

私は本番の前はとても緊張していたけれど、保護者の方々や地域の方々の見守りや声援を聞いてがんばることができました。また、ゴールをするときもたくさんの方々の声援が聞こえてきてとてもうれしかったです。たくさんの方々のおかげで、今年の遠泳大会も成功することができました。ありがとうございました。

伊子茂中学校 3年 名前（田畑 実奈都）